

時間や場所を気にせず
ゆっくり読める

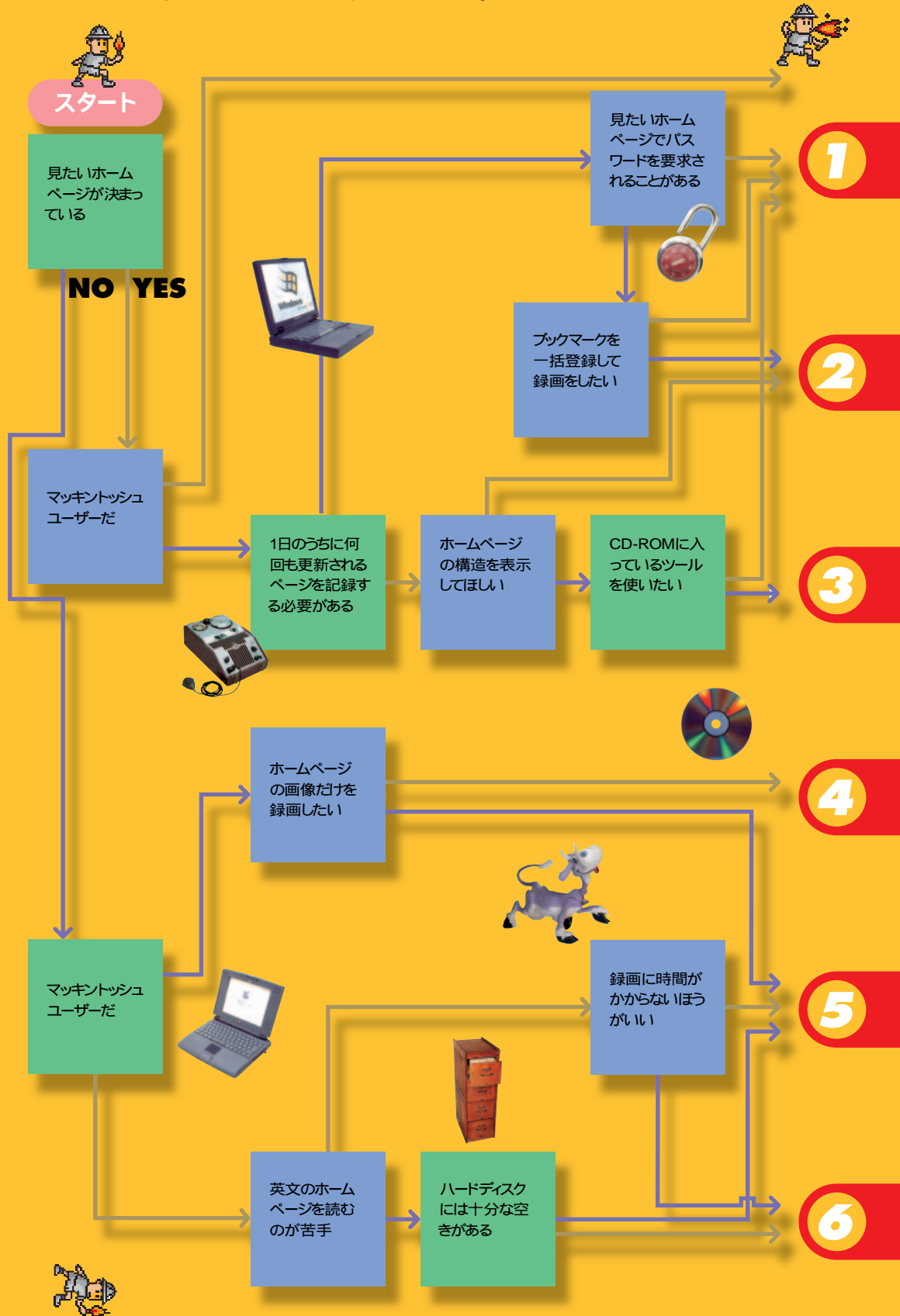
ホームページ録画 ツール活用術

ダイヤルアップ接続の泣きどころは、ホームページが表示されるまで時間がかかること。待ってる間はいらいらするし、余計な電話代もかかるので、頭が痛い。いっそ、ビデオでテレビ番組を録画するように、ホームページを録画して接続を切ってからゆっくりページを見られたら、どんなに便利なことだろう。そんな要望に応えてくれるのが、今回紹介するホームページ録画ツールだ。これらのツールの中にはタイマー録画ができるものもある

ので、寝ている間に勝手にダイヤルアップ接続して見たいホームページを録画できる。朝起きたら、自分のパソコンのハードディスクに録画されたファイルを開けば、まるでネットサーフィンしているようにホームページが見られるのだ。この便利なツールを使わない手はない。この集中企画では、それらのツールの上手な使い方や実際に使ってみた結果などを紹介する。まずは、右のチャートできみにぴったりのツールを選んでみよう。

ぴったりのホームページ録画ツールはどれ？

下のチャートの質問に答えながら、きみにぴったりのホームページ録画ツールを探してみよう。
ネットサーフィンが楽になるツールがきっと見つかるはずだ。



きみにぴったりの ホームページ録画ツールはこれ!

*272ページからのツール紹介は本誌 CD-ROM に収録されているツールを中心にしています。



操作が簡単なソフトを使いたい人に

Perman Surfer 波乗野郎

注) 996年12月現在、ウィンドウズ版はVer2.0 2がリリースされている。マッキントッシュ版の次のバージョンは97年1月末にリリース予定)

サーフィンしている犬のイラストでお馴染みのホームページ録画ツール。ウィンドウズ版とマッキントッシュ版が両方リリースされているのは、波乗野郎だけ。録画開始時刻設定や録画するホームページの容量制限機能がついているので、きめ細かい設定ができる。パスワード入力が必要とするホームページにも対応。 272ページへ

ライセンス登録料: 6,800円 問い合わせ先: 株式会社ビー・ユー・ジー URL <http://www.bug.co.jp/nami-nori/>

1

早く確実にページを録画したい人に

Net Recorder

録画されたファイルを、ファイル名ではなくページタイトルで表示してくれるので、再生した時に分かりやすい。録画したホームページは構造が変わらずに、そのまま表示される。1月末にVer.2が発売される予定。

定価: 9,800円 (発売記念価格6,800円)

問い合わせ先: ザクソン株式会社

URL <http://www.xaxon-net.or.jp/>

2

ファイルの種類を細かく指定して録画したい人に

Web Auto

このソフトの特長は、動画、Java、ActiveX などがあるホームページも録画してくれること。また、シェアウェア (1か月の試用期間後は3,000円) なのでとりあえずホームページ録画ツールを使ってみたいという人には打ってつけた。

ライセンス登録料: 3,000円

問い合わせ先: 有限会社ヤナソフト

URL <http://www.dango.or.jp/yanasoft/software/webauto.html>

3

画像を一括録画したい人に

Internet Ninja

指定したページの画像、動画、サウンドファイルを蓄積して一括管理してくれるソフト。画像を全て並べて表示してくれるので、一覧できて便利だ。素材集を取り込めば、ホームページ制作にも活用できる。 277ページへ

定価: 9,800円 (ホームページで購入すると3,500円)

問い合わせ先: 株式会社アスキーサムシンググッド

URL <http://www.asg.co.jp/>

4

何日か前に見たあのホームページをもう一度見たい人に

ネットスケープキャッシュエクスプローラ & MSIE キャッシュエクスプローラ / Netscape History

ネットサーフィンをしてハードディスクに録画されたホームページを自分のパソコンで再生することによって、インターネットに接続せずにホームページが見られるツール。いろいろなホームページをあちこち見たい人におすすめ。 276ページへ

ネットスケープキャッシュエクスプローラ & MSIE キャッシュエクスプローラ入手先: URL http://ourworld.compuserve.com/homepages/M_Wolf

ライセンス登録料: 20ドル (シェアウェア) Netscape History 入手先: URL <ftp://ftp.iij.ad.jp/pub/info-mac/comm/inet/web/ntscp/netscape-history-201.hqx> ライセンス登録料: 8ドル



5

ネットサーフィンした記録を残したい人に

Side Scape

注) ウィンドウズ版は今後リリースされる予定

ネットサーフィン中に立ち寄ったサイトをすべて記録し、ファイルをハードディスクに蓄積してくれるツール。前に見たホームページをもう一度見たいときに便利。キーワード検索もできる。放っておくとハードディスクに録画されたホームページがどんどんたまってしまっているので、十分な空き容量がない人は注意。 278ページへ

問い合わせ先: ビジョンコーポレーション URL <http://www.visionj.co.jp/sidescape/>



6

好きなページを自動録画！ ホームページ自動録画ツール

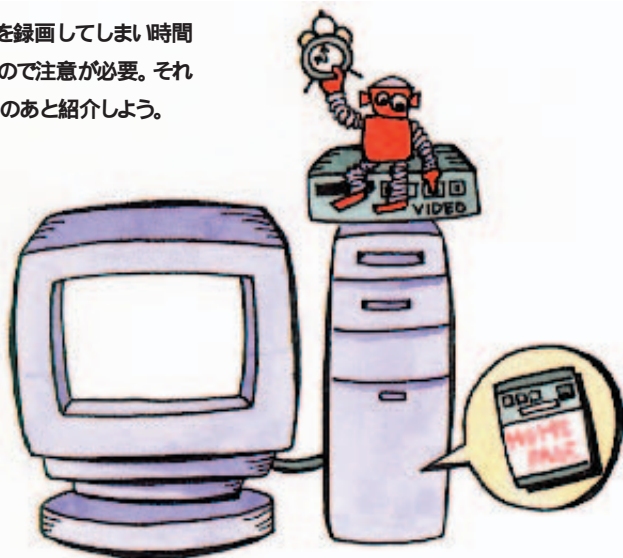
ホームページ自動録画ツールは、自動的にホームページの画像や文字を集めて、ハードディスクに保存してくれるツールだ。これを使えば、自分でインターネットに接続してリンクをクリックしなくても、自動的に見たいページを録画してくれる。あとは、インターネットとの接続を切ってからハードディスクに保存されたページをゆっくり読めばいい。

もし、毎日チェックしているページがあるときには、このツールでホームページを録画しておけば自分でアクセスする手間が省けるのだ。また、ビデオのタイマー予約のようにそのツールが起動する時間を指定する機能を使って、夜中のテレホーダイの時間と組み合わせて録画しておけば、電話代も節約できたりと、いいに

とがいっぱいあるのだ。

しかし、余計なページを録画してしまい時間をくってしまうこともあるので注意が必要。それらの使い方のヒントはこのあと紹介しよう。

自分でホームページを見ていなくても、自動的に録画できる。



ホームページ録画ツールの 仕組みを知ろう

ぴったりのツールが決まったら、早速ホームページ録画ツールを使ってみよう。でも、ちょっとその前に、きみの使うツールがどんな仕組みで動くのかを説明しよう。

過去にネットサーフィンしたページが見れる ホームページ同時録画ツール

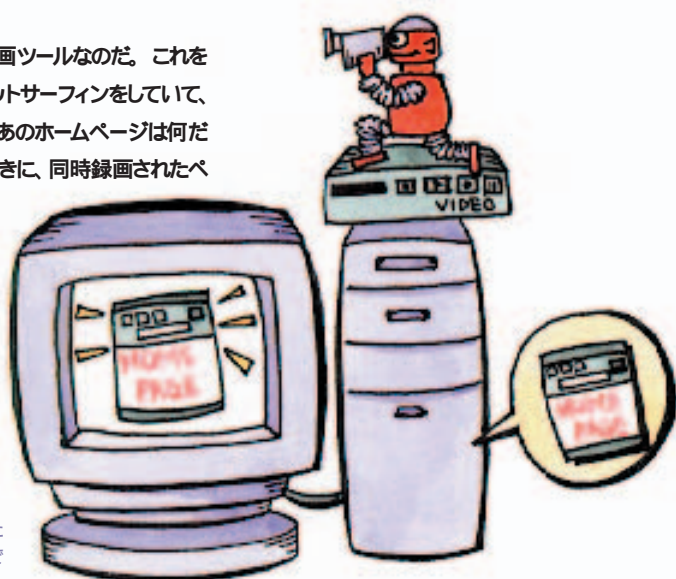
ネットサーフィンをしていて、ブラウザの「戻る」ボタンや「Back」ボタンを押したときに、素早くページが表示されるのに気づいた人も多いはずだ。普通にホームページにアクセスするときは、ちょっと時間がかかるのに、この場合はどうしてこんなすぐに表示されるのだろうか？

実は、ネットスケープナビゲーターなどのブラウザは、一度アクセスして表示させたホームページを一時的にハードディスクに保存している（キャッシュデータと呼ぶ）。一度見たホームページにもう一度アクセスするときは、これを読み出ししているから、表示が速いのだ。このように、ネットサーフィンしているあいだ、その記録は言ってみれば同時録画されているというわけだ。

この過去のネットサーフィンの記録を見るの

がホームページ同時録画ツールなのだ。これを使えば、ぶらぶらとネットサーフィンをしていて、「あ、ちょっと前に見たあのホームページは何だったっけ」なんていうときに、同時録画されたページを読むことができるので便利だ。

次々とネットサーフィしたページが録画され、あとで再生できる。



Perman Surfer 波乗野郎

バージョンアップして、使いやすさはそのままに機能が充実!



数あるホームページ録画ツールの中でも使いやすさ抜群なのがこの波乗野郎だ。ウィンドウズ版はバージョンアップして機能も増えた。その使い方を紹介しよう。

試用版入手先: 本誌付録CD-ROM

Win Perman (製品版)

Win Perman (ver.2.0)

Mac Perman Surfer

収録された Ver.2.0 はベータ版で、使用期限は 2 月 28 日まで。製品版を継続して使用する場合は、登録料 (6,800 円) を支払い、正規版 (Ver.1.04) のライセンス登録をする。

問い合わせ先: 株式会社ビー・ユー・ジー

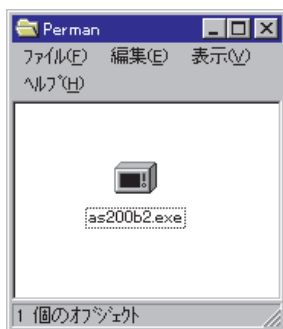
URL <http://www.bug.co.jp/nami-nori/>

E-mail nami-nori-feedback@bug.co.jp



ウィンドウズ版 (Ver.2.0 ベータ 2)

インストールしてみよう

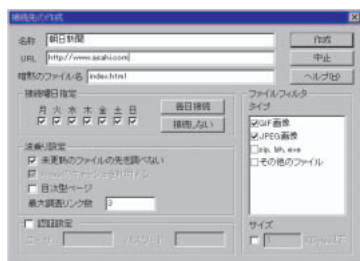


ファイルを解凍するフォルダーを作っておく。付録のCD-ROMを「Win Perman2」の順で開く。その中にあるアイコンを作っておいたフォルダーにコピーする。

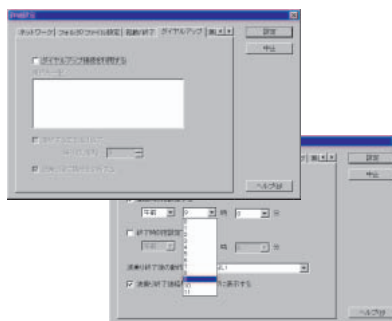


ダブルクリックすると解凍され、ファイルが展開される。「波乗野郎」のアイコンをクリックすれば起動する。

設定してみよう



「接続先」から「新規接続先」を選び、名称とURLを入力して「作成」をクリックする。同じように複数のページを指定できる。



「波乗り」から「詳細設定」を選ぶとさまざまな設定ができる。「ダイヤルアップ」では接続先を指定できる。また、「起動/終了」では、いつデータを録画するかなどの細かい設定ができる。このあたりがバージョンアップして変わったところだ。

使ってみよう



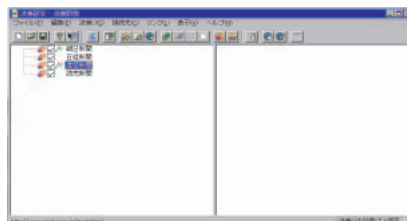
「波乗り」から「波乗りをはじめる」を選ぶ。インターネットに接続して、ホームページのデータを録画しはじめる。



録画が終わると、メッセージが出て終わったことを知らせてくれる。録画が終わったものには旗が立っている。



読みたいページを選んでこのボタンをクリックすると、ブラウザが起動して録画されたホームページを見ることができる。



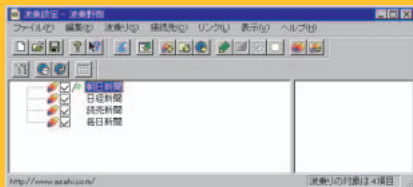


朝刊代わりに、新聞社のホームページから ニュースを録画しよう

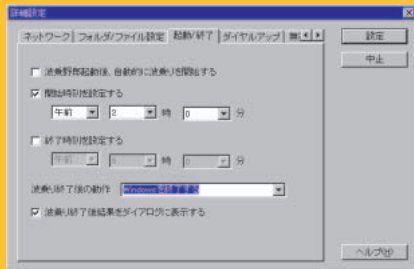
朝食をとったり、通勤電車で揺られたりしながら新聞を読む。こんな当たり前の習慣を、インターネットでトライできるかどうか編集部で試してみた。使用した機種は、東芝のノート型パソコン「リブレット」だ。リブレットくらい小さければ、電車の中でも邪魔にならないかもしれないからだ。波乗野郎で夜の間に朝日新聞、読売新聞、日経新聞、産経新聞のホームページにアクセスして、ニュースを録画してみた。



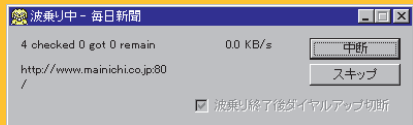
まず、アクセス先を指定する。たいていのソフトは複数指定できるので便利だ。



開始時間を設定しよう。朝方のほうが、スムーズにデータを集められるので、午前2時にセット。



設定は終了。ソフトを起動させておいて、あとは寝て待つだけだ。



新聞を広げて読む代わりに、4紙まとめてノートパソコンでチェックだ。まわりの人の視線が気になるところだ(268ページ参照)。



やってみて分かった! こんなこと、あんなこと



効率よくデータを集める
には、コツが必要

ホームページ録画ツールのやっかいなところは、あまり必要のないページまで録画してしまうことだ。たとえば英語版の記事はあまり読むことはないだろうし、広告なども実は読みたくないという場合もあるだろう。いらぬデータは録画しないで、読みたい記事だけを録画するには、細かい設定をする必要があるのだ。



データを録画する範囲の
指定が重要

まず設定で大切なのが、ホームページのどの部分からどの部分までを録画するかということ。トップページには、さまざまな場所に飛ぶリンクがある。それらをたどってページを録画するので、余計なものを録画してし

まうことが多い。新聞のホームページを録画するのなら、見出しや記事だけが集まっている部分を指定して、ほしい情報だけを録画したい。また、録画したい部分が指定したページだけなのか、そこからリンクを張られた次のページまでなのか、またもっと先のページまで録画するのかという範囲の指定も重要だ。欲張って録画する範囲を大きくしすぎると、膨大な量のデータを録画してしまうことになる。これは波乗野郎なら「最大調査リンク数」という項目で設定できる。また、英語版のページなどあまり読まない部分を録画しないようにその部分のURLを無視してしまうのもアイデアだ。波乗野郎なら、「無視するURL」の項目に、いらぬと思ったページのURLを登録しておけばOKだ。そのページはもちろん、そのページにあるリンクもたどらないので無駄が省ける。も

ちろん、ほかの録画ツールでもこれらの設定は可能だ。



データを集められない
ページがあるので注意

最近のホームページには、しばしばJavaやCGIと呼ばれるものを使って、アクセスカウンターや、別ウィンドウに情報を表示させるなどの便利で楽しい機能が付けられるようになってきた。しかし、この機能のせいでデータを集めることができない場合がある。たとえば、日経BPや毎日新聞のホームページがそうだ。これらは、残念ながらホームページのデータが完全には録画できないので、自分でアクセスするしかないのだ。しかし、今後はさまざまな仕掛けのあるページが増えていくことが予想されるので、対応が望まれる。



マッキントッシュ版 (Ver.1.02)

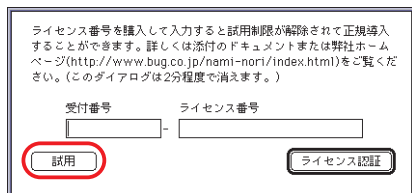
インストールしてみよう



付録 CD-ROM の「Mac Perman Surfer」をハードディスクにコピーする。PPC用と68K用があるので注意。



下のようなウィンドウが表示されたら、「試用」をクリック。継続して使用する場合はライセンス料(6,800円)を支払う。



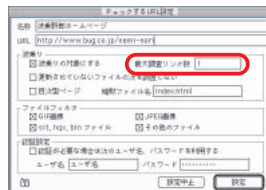
設定してみよう



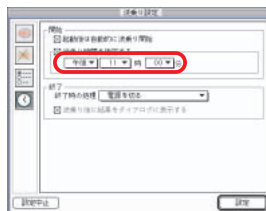
初期設定では、波乗野郎のホームページが設定されているので、そこに自分の見たいホームページ名とURLを上書きして登録。ブックマークの一括登録も可能。



録画するページの深さを指定。トップページとその次のページまでを録画したい場合、「最大調査リンク数」は「1」になる。



指定した時間から録画を開始するタイマー機能。テレホーダイタイムに行うのがベター。



使ってみよう



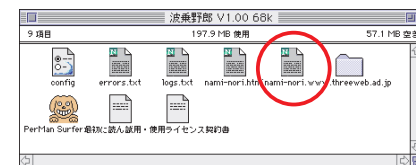
録画したいホームページに「波乗りの対象にする」にチェックを入れる。



「波に乗る」をクリックして録画開始。「スキップ」をクリックすれば、録画したくないファイルをパスしてくれる。



波乗り終了。「naminori.html」を開くと、録画したホームページのURL一覧が表示される。録画したホームページのデータはフォルダの中に蓄積されている。



注) PermanSurfer 波乗野郎のマッキントッシュ版 Ver.2.0 版は96年12月末現在ではまだリリースされていない。そのため、このページではVer.1.02で実験している。



ショックウェーブのゲームを録画して遊んでみよう

ゲーム関係のサイトはついつい長時間遊んでしまいがち。つながりばなししていると接続料金もばかにならない。ホームページを自動録画しておいて回線を切ってから時間を気にせずにゲームを楽しもう。一般の画像ファイル形式とは異なるショックウェーブのファイルを録画しても回線を切った状態でちゃんと遊べるだろうか。



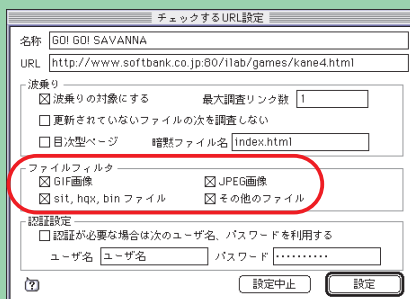
ショックウェーブゲームのホームページのURLを入力する。次のページにあるファイルまでを録画してくるので、「最大調査リンク数」は「1」に設定する。



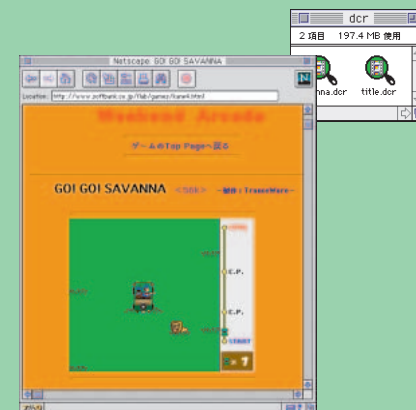
GO! GO! SABANNA URL <http://www.softbank.co.jp/ilab/games/kane4.html>



ファイル形式を設定するところでは、すべてのファイル形式にチェックを入れて録画を開始。



ショックウェーブゲームのファイル(.dcr)が録画できていれば、回線を切った状態でゲームができる。



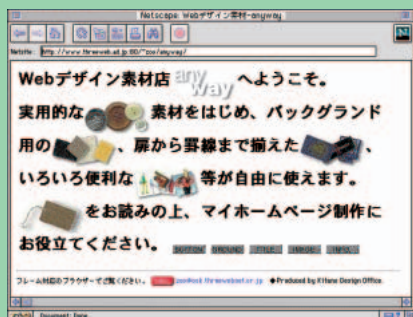
マッソントツシ版
実践編
2

ホームページ作成で使う素材集を録画してみよう

ホームページ作成に便利なのが素材集を集めたホームページ。これをごっそり録画して回線を切ってから素材を探せば、ほしい素材がゆっくり選べるというわけだ。お好みの素材集ホームページを見つけたら、テレホーダイタイムにまとめて録画してみよう。



録画したい素材集のホームページを決め、全体の構造をチェック。



Web デザイン素材--Anyway

URL <http://www.threeweb.ad.jp:80/~zoo/anyway/>

このページで紹介されている素材は「個人での非営利な Web ページの作成に限り、フリー使用可」とのこと。



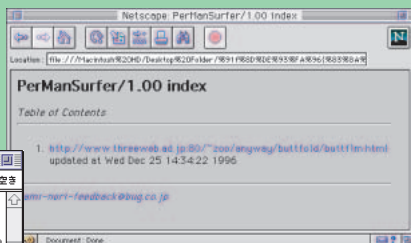
ほしい部分が決まったら、「チェックする URL の設定」の「最大調査リンク数」を慎重に設定する。この数が多すぎると、ひと晩中録画しても終わらないという悲劇になりかねない。



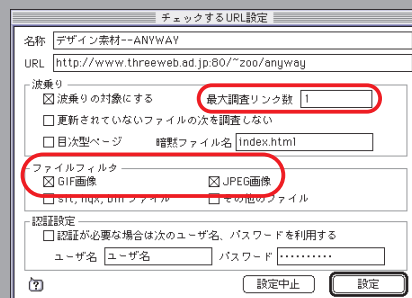
録画対象のファイル形式は「GIF 画像」と「JPEG 画像」のみをチェック。それ以外の形式のファイルは録画されない。



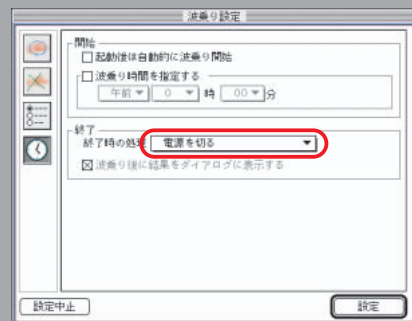
録画されたファイルをチェックする。「nami-nori.html」というファイルを開けば、録画した URL のインデックスが表示される。



録画されたホームページはここにたまる



「終了時の処理」を「電源を切る」に設定しておけば、自動的に接続が解除されるので、便利だ。



やってみて分かった! こんなこと、あんなこと



タイマー機能を活用しよう

指定した時間から録画を始めてくれるタイマー機能はとっても便利。ここで録画開始時間を設定し、「終了時に電源を切る」という設定にしておけば、むだな接続をしなくて済む。パソコン内の時計を合わせておこう。製品版の波乗り野郎 (Ver.1.0.2) では、Net Recorder のような定期的に更新されたウェブをチェックする機能がない。新聞社のホームページのように頻繁に更新されるサイトを読むには、不満が残るところだ。

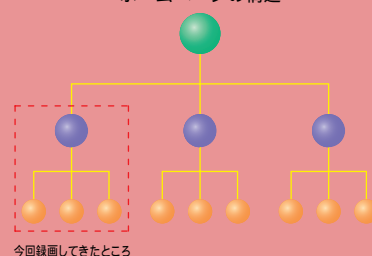


ホームページを録画する前に、ページの構造をよく調べるのがコツ

素材集などの画像ファイルやゲームなどのショックウェーブファイルは容量が大きいので、録画する際にはなるべく必要なところだけ集めるようにしよう。ページ数が多いと録画するのに、膨大な時間がかかり、普通にネットサーフィンしたほうが早い場合もある。ほしいファイルがだいたい決まっているような場合にはホームページ自動録画ツールを使用し、いろいろなホームページをネットサーフィンしてから探したいような場合は

ホームページ同時録画ツールを使うというように使い分けるといいだろう。

ホームページの構造





機能はシンプルだけど使い方は超カンタン！



ネットスケープキャッシュエクスプローラ & MSIE キャッシュエクスプローラ



2種類のソフトのようにだが、使い方はまったく同じ。各ブラウザに対応しているだけだ。いつも使っているブラウザに合わせて使い分けよう。

本誌付録CD-ROM収録先
ネットスケープキャッシュエクスプローラ

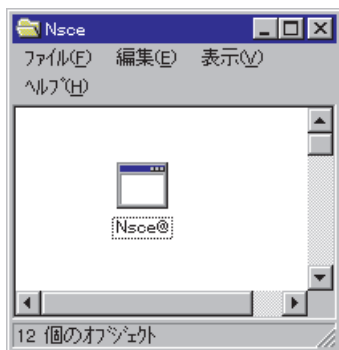
Win Nscacheex

MSIE キャッシュエクスプローラ

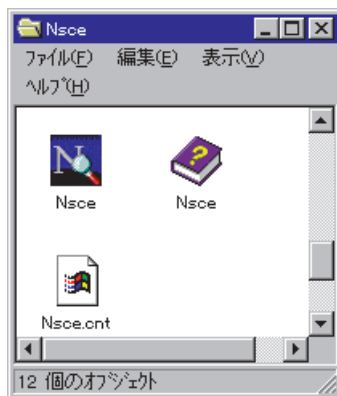
Win Iecacheex

URL <http://ourworld.compuserve.com/homepages/M-Wolf/>

インストールしてみよう

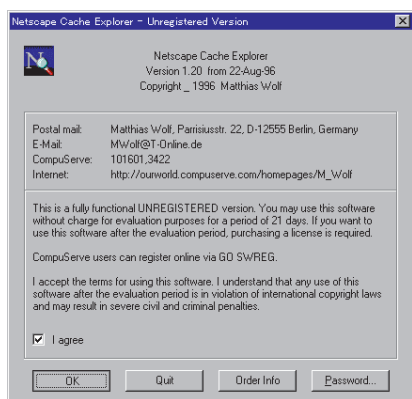


ファイルを解凍するフォルダーを作っておく。ネットスケープを使っているなら付録のCD-ROMを「Win Nscacheex」に順に開く。インターネットエクスプローラであれば「Win Iecacheex」の順で開く。



作っておいたフォルダーにファイルをコピーする。ファイルをダブルクリックすれば、解凍される。これで完了だ。

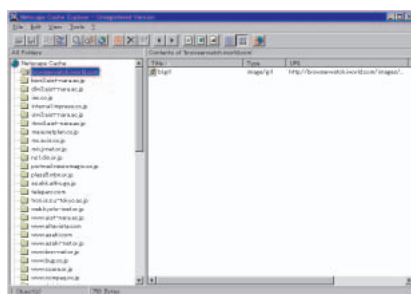
使ってみよう



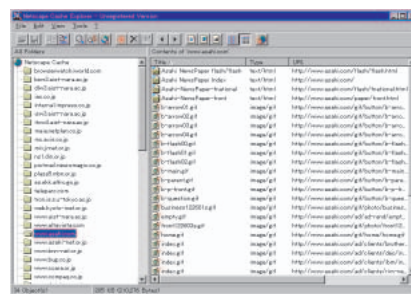
起動すると使用許諾書が表示されるので、「I agree」をクリックする。



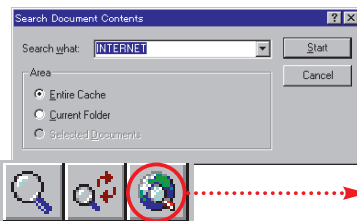
インターネットに接続して、ある程度ネットサーフィンしたら、このボタンをクリックする。新しく録画されたページが表示される。



ネットサーフィン中に録画されたページごとにフォルダーに分けて整理される。



フォルダーをダブルクリックすると右側のウィンドウにデータが表示される。ファイルをダブルクリックすると、ブラウザが起動して表示される。

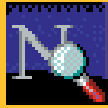


録画されたページの検索もできる。ファイル名やURLのほか、ページにふくまれている単語などからも検索できる。ただし、英語しか入力できない。

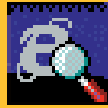
実践編

控えるのを忘れてしまった重要なページを呼び出してみよう

最近多くなってきているのが、個人データなどを入力して、パスワードやIDをもらってから見る事ができるホームページだ。この場合、これらのデータを控え忘れてしまうことも少なくない。しまったと諦めるなかれ。ホームページ同時録画ツールを使えば、そのページを見つけ出すことができるかもしれない。ここでは、そんなテクニックを伝授しよう。これは、海外通販などで、注文番号などを忘れてしまったときにも使えるワザなのだ。



Nscc



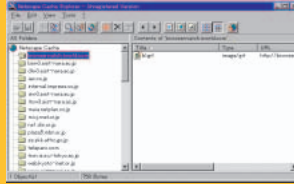
Msice



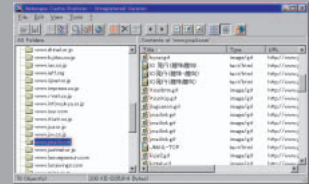
キャッシュエクスプローラを使って、一時的に保存されているデータを表示させる。ここでは、あるサービスのIDが表示されたページを探す。



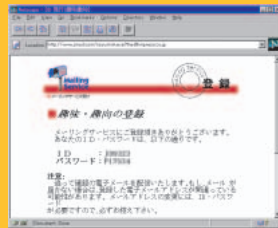
今までに見たページがアドレス別にフォルダーになって表示されている。これが1つの手がかりだ。



フォルダーを開くと、タイトルが表示されている。ここに、関係のある言葉があればそれをダブルクリックしよう。



見事にパスワードとIDが表示された。今度は慎重に控えておこう。



やってみて分かった! こんなこと、あんなこと



あまり古いページは消えてしまう

同時録画するページの量には限りがある。ある程度いっぱいになると、古いものから消えてしまうのだ。そのため、ひんぱんにネットサーフィンしている人の場合、ちょっと前に録画したページでもすぐになくなってしまい、いくら探しても見つからないということになってしまふ。その場合は諦めるしかないのだ。



同時録画するページの量は調整できる

同時録画するページの量は、自分の好きなように調節できる。この量を多くすれば、一時的に保存されるデータの量が大きくなるので、過去のデータがより多く引き出せるようになる。ただし、ハードディスクの容量が少ない場合はあまり大きくしないほうがよいだろう。

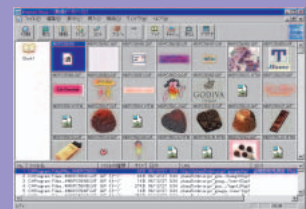
ネットスケープの場合は「オプション」から「設定」を選び、「キャッシュ」をクリックする。ここの「ディスクキャッシュ」がその量の値だ。インターネットエクスプローラの場合は、「表

示」から「オプション」を選び「詳細設定」をクリックする。次の画面で「使用するディスク領域」のつまみを右に動かすと増やすことができる。

同時録画した画像データが表示される Internet Ninja

このソフトの特長は、ネットサーフィン中に同時録画された画像データが表示されることだ。ほかのツールだと、単にファイルはアイコンで表示されるだけで、それがどんな画像なのかは分からない。Internet Ninja(インターネットニンジャ)を使えば、録画された画像データが一覧表示される。その並んだ画像をダブルクリックすれば表示もできる。これ

を使えば、画像のスクラップブックにもなるのだ。保存しておきたい画像をたくさん集めて、自分だけのギャラリーを作るのもいいかもしれない。もちろん、画像だけでなく動画やサウンドなどのホームページデータも簡単に再生できるのだ。



このように、画像は一覧で表示される。

Internet Ninja

価格：9,800円(ホームページで購入すると3,500円)

問い合わせ先：
株式会社アスキー・サムシンググッド
URL <http://www.asg.co.jp>

Netscape History

同時録画したホームページを一覧表示してくれる



回線を接続せずに、同時録画したホームページを一覧表示してくれるページごとに再生できるのがこのツールだ。ウィンドウズユーザーが使用する「ネットスケープキャッシュエクスプローラ」などに対して、マッキントッシュユーザーには「Netscape History」がある。

本誌CD-ROM収録先：
NetscapeHistory
Mac Netscape History



インストールして設定してみよう



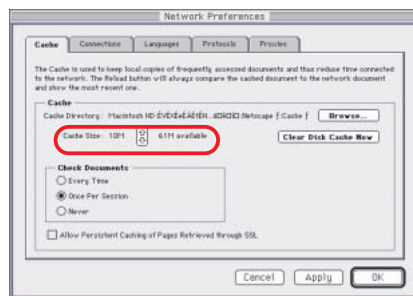
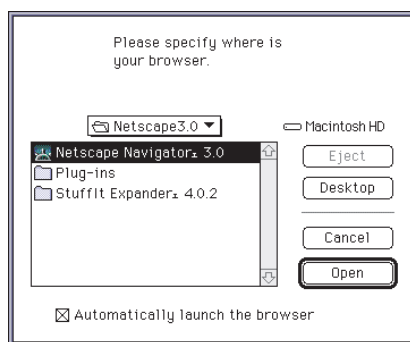
付録CD-ROMの「Mac NetscapeHistory」をハードディスクにコピーする。



Netscape Historyを起動させ、「使用しているブラウザの場所」(「ネットスケープのある場所」)や「キャッシュホルダーの場所」(「読み込んだホームページを保管している場所」)を指定。



ネットスケープの中のこの部分の数値を大きくしておけばしておくほど、多くのホームページが同時録画される。



使ってみよう



Netscape Historyのアイコンをダブルクリックすると、録画されたホームページを再生する準備が始まる。



準備が終わると、ネットスケープが自動的に立ち上がり、録画されたホームページの一覧が表示される。

今まで見たホームページをすべて自動的に録画してくれる Side Scape

このツールを使うと、ネットサーフィンしたホームページがすべて記録され、ホームページのファイルが自分のハードディスクに蓄積される。Netscape Historyのようなホームページ同時録画とは異なり、ハードディスクにホームページのファイルが直接保存されていくため、ホームページを元の形で再生できるのが特長。録画されたホームページが次々に変わっていく自動サーフィン機能が付いているので、プレゼンなどをする場合に便利。自動サーフィンをしている間、あらかじめ指定して

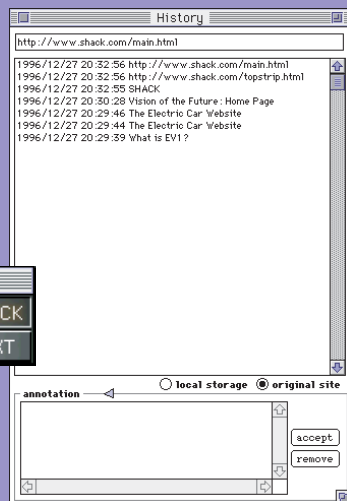
いたキーワードにぶつくと、音で知らせてくれる機能もある。このソフトは、ヴィジョンコーポレーションのホームページ(URL <http://www.visionj.co.jp/sidescape>)からダウンロードできる。ウィンドウズ版も追ってリリースされる予定。



付録CD-ROM収録先：
Mac SideScape (パワーマック版のみ)



Side Scapeの基本操作画面。上のウィンドウの「REC」をクリックすると、ホームページが保存され始め、右のウィンドウ内に保存されたホームページのURLが表示されていく。



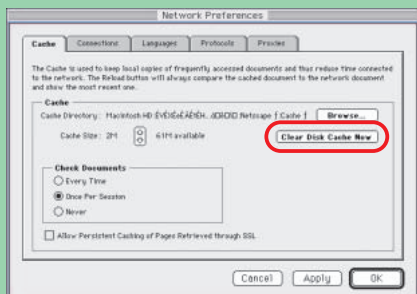
実践編

料理ページから録画したレシピを見ながら料理をしてみよう!

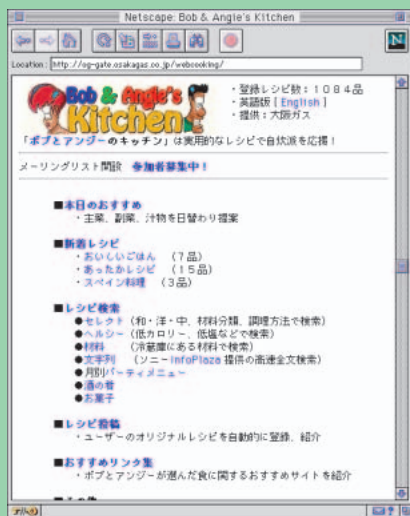
料理のレシピが載っているホームページは多い。しかし、せっかく作りたい料理を見つけても、それをいちいちプリントアウトするのはめんどうだ。かといって、つなぎっぱなしでは料金がかさんでしまう。そこで、ホームページ同時録画を使ってホームページを再生してみよう。



まず、ネットスケープの「Clear Cache Disk Now」をクリックして、以前見たホームページの記録を消去しておく。そうしないと、復元されるホームページが多すぎてしまい、再生処理に時間がかかってしまう。



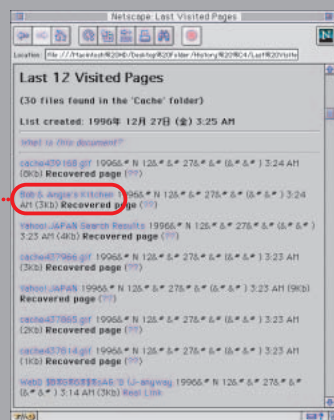
料理のレシピを見るために大阪ガスのホームページ「ボブとアンジーのキッチン」(URL <http://www.osakagas.co.jp/webcooking/index.html/>)にアクセスし、次々とページを見ていく。



ひと通り見終えたら、Netscape Historyを起動させ、ホームページを再生する。



再生が終わると、ネットスケープにネットサーフィンしたページの一覧が表示される。リンクをクリックすれば、レシピが読める。



やってみて分かった! いいところ、悪いところ



画像が完全に再生されない場合がある

ホームページ同時録画ツールは、ハードディスクに蓄積された情報をそのまま再生してしまうので、相手のサーバーから直接ホームページを録画するホームページ自動録画ツールとは異なり、ページが完全に再生されないところがあるので注意。画像へのリンクが多かったりホームページの構造が複雑だったりすると、ネットスケープで再生したときに

リンクがはずれてしまい、画像が表示されないことがある。地図のように画像だけで意味が分かるサイトは問題ないが、レシピのように画像と文章が同じページにないと、意味が分からないようなページでは注意が必要。



ホームページ蓄積容量が大きいと、再生処理に時間がかかる

蓄積されるページ数が多いと、その分、再生するのに時間がかかってしまうので、

Netscape Historyを使用する前に蓄積させるホームページ情報量を調節しておこう。



タイトルバーにある名前がそのまま再生されるので、あとで探しやすい

タイトルバーに付いている名前の一覧が表示されるので、そこが何のページであったか分かるようになっている。深い階層の下の方にあるサイトにもすぐにたどりつけるので便利だ。

[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレス R&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp